

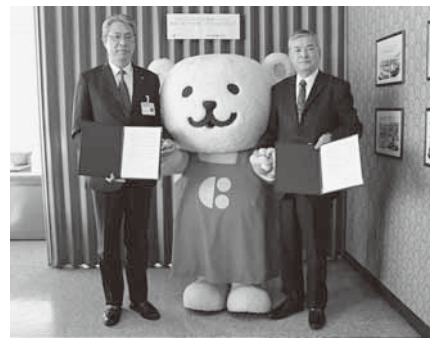
■ ■ コープさっぽろと市が「高齢者見守り活動」の協定を結ぶ

市は、生活協同組合コープさっぽろと「芦別市における高齢者のための地域の見守り活動に関する協定」を締結、2月20日、芦別市役所内で協定書への調印が行われました。

これは、同生協が道内各地で行っている宅配や配食サービス業務の一環として、業務の担当者が65歳以上

のひとり暮らし世帯などで異変を見つけた場合、地元自治体や消防、警察などへ連絡するというもので、既に道内では90市町村が協定を結んでいます。

調印式には、同生協の山口敏文専務理事＝写真右＝が市役所を訪れ、清澤市長と協定書を交わしました。



■ ■ 木質チップボイラーが稼働開始、芦別温泉施設群に熱供給



芦別温泉など健民センター施設群の新たな熱供給源となる木質チップボイラーがこのほど完成し、3月3日、火入れ式が行われました。

これは、市が導入を進めていたもので、スターライトホテル敷地内に2基の木質チップボイラーが設置されました。総事業費は、機械設備、建物などを含め約3億1,000万円。

これまで、同施設群では重油ボイラーによって熱供給を行っていましたが、今後は、重油ボイラー1基を予備として残り、木質チップボイラーが主体となります。燃料となる木質チップは、市内の山林で切り出される間伐材などを使用。価格が高騰し不安定な重油に比べ、燃料費節減のほか、CO2（二酸化炭素）排出量の抑制が期待されています。

■ ■ 蓄音機でクラシック音楽を聴く 深い味わいの音をたん能

3月16日、蓄音機によるSPレコードコンサートが市立図書館で開催され、34人が参加しました。

この日使用した蓄音機は、道内でも数台しかないとされる、1925年にアメリカで製作された「クレデンザ」や1904年製のロウ管蓄音機など3台。富良野市のふらのSPレ

コードを聴く会が所有しているもので、同会代表の田澤豊さんが、蓄音機についての解説を交えながらクラシックや映画音楽、昭和の歌謡曲が収められたSPレコードをかけました。参加した皆さんは、電気式オーディオにはない深い味わいの音に耳を傾けていました。



■ ■ V・プレミアリーグ芦別大会 JTサンダーズなどに熱い声援



試合開始前に子どもたちと記念撮影するJTサンダーズの選手

芦別120周年・市制施行60周年記念事業の最後を飾るバレーボールV・プレミアリーグ男子芦別大会が3月22日と23日の2日間にわたり、市総合体育館で開催されました。

試合を行ったのは、同リーグで優勝争いを展開しているJTサンダーズ、サントリーサンバーズ、ジェイテクトSTINGS、FC東京のいずれも実力と人気を兼ね備えた4チーム。

今シーズン道内で同リーグの試合が行われるのは芦別市だけとあって、市内外から多くのファンが詰めかけ、応援合戦が繰り広げられました。

中でも15年前から毎年芦別市内で合宿を行っているJTサンダーズは、芦別市民にとってはすっかりおなじみで、選手がコートに姿を現すと、地元チームかと思うほどの熱い声援が送られていました。